

Connect つなぐ

株式会社近藤設備

建設業 <https://www.konsetu-iwate.com/>

下請けの壁を越えることは、設備業界では難しいのですか？

首都圏の設備業界は、加工は加工業者、設置は設置業者、輸送は輸送業者と、分業化が進み、下請け構造から抜けることは、とても難しいのが現状。一方、地方では、配管工事屋だからといってそれだけやっていたら仕事にならない。ちょっとした加工や設置、輸送まで流れで何でも受ける。

近藤設備は、根っからの「何でも屋」。元々は、ゼネコンの下請けのサブコンの下請けとして、工種で言うと配管工を専門とする工事会社である。冷暖房空調設備から給排水衛生設備、消火設備、プラント配管まで、幅広い設備工事を手がけ、つなげる技術とノウハウを蓄積してきた。さらには、自社加工センターを設けて、「設計～加工～施工」という一貫体制を構築してきた。現在では、岩手県内だけでなく全国にフィールドを広げ、下請工事会社の枠を超えた事業を展開している。

まずは近藤設備で3年

首都圏の設備会社で働くと、通常は、現場なら現場など、一つの仕事しかできないことが多く、短期間で仕事の全体像を把握することが難しい。

近藤設備には、加工場、現場、設計など様々な職種に挑戦できる環境がある。常に新しい技術を取り入れ、様々な設備をつなぐことで成長してきた。

仕事全体を見ながら各工程を経験でき、色々な技術を身につけるという意味では、首都圏で5年間経験を積むよりも、近藤設備で3年間働いてみる方が得られるものは多いと自負している。

人と人をつなぐ存在

「トラス配管」という、一本一本は細い配管を三角形を基本に組み合わせて負担を分散し、強度を増す構造がある。当社は、年齢や経験を問わず、従業員一人ひとりが主役となり、力を合わせて共に成長していく、まさに「トラス配管」構造の会社である。

公共施設、工場、オフィスビル、ホテル、病院、商業施設、集合住宅など、長年培ってきたノウハウと最新技術を駆使し、快適で安全な設備環境を提供。地方と都市、事業と事業、人と人を繋ぐ存在として、これからもつなぎ続けていく。

代表者からのメッセージ

代表取締役

近藤 正彦



設備業は、今も昔も変わらず現場の技術力が非常に重要です。技術を修得するには当然時間もかかり、じっくり根気強く経験を積んでいく。覚えることはたくさんありますが、設備業は「環境」「生活」「水」「感染症」等の今の時代になくはならない仕事です。時代に合ったつなぐ技術を身につけ、将来に羽ばたきたい方と一緒に働くことが私たちの願いです。

キラリPoint▶▶▶



Company DATA

- 事業内容/各種設備工事、プラント配管・土木・配水管布設工事、プレファブ配管・配管ユニット、架台・支持金具の製作
- 資本金/3,000万円 ■従業員数/98名(女性 9名) ■平均年齢/44歳 ■設立/1992年6月 ■売上高/29.7億円
- 初任給/200,000円(大卒) 190,000円(短大卒) 190,000円(専門卒) 165,000円(高卒)
- 福利厚生/社会保険完備、通勤費、独身寮、家賃補助、資格支援制度、退職金、慶弔見舞金
- 休日・休暇/年間90日(日曜・祝日 他 会社カレンダーによる)、有給休暇

【本社所在地】 〒029-5615 和賀郡西和賀町沢内字猿橋33-50

【北上統括事業所】 〒204-0014 北上市流通センター6-13 ☎0197-62-5090

